

事業の名称（提案種別 <input type="checkbox"/> 市民提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型） 手話を知るための講演会	
団体名 社会福祉法人富士見市社会福祉協議会	担当課名 障がい福祉課
事業の目的	手話を知ってもらおうと共に聴覚障がい者について理解を深めてもらうことを目的とする。
役割分担	【団体】 ①企画・運営 ②周知・啓発資料作成 ③広報（市内公共機関・民児協） ④講師依頼・打合せ ⑤会場確保（付属設備含む） 【担当課】 ①企画・運営 ②広報（市広報・ホームページ・報道関係）
事業の決算額	190,000 円（市補助金 190,000 円）

1 協働事業の実施内容について

- ・「手話は言語」をテーマとして、第1回はろう者、第2回はコーダによる講演会を実施。

第1回：早瀬憲太郎氏講演「手話は言語～音声日本語とのちがい～」

平成29年5月27日（土）10：00～11：30

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ マルチホールにて

第2回：田中清氏講演「手話は言語～CODAの立場から～」

平成30年2月12日（月振）13：00～14：30

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ マルチホールにて

<活動実績>

実施日	内 容
5月 1日	打合せ：概要、広報、開催までの予定について
5月上旬～	チラシ（ポスター）を市内公共施設へ配布
5月17日	会場打合せ：キラリ☆ふじみ担当と打合せ 打合せ：司会・ボランティアスタッフ、役割分担について
5月26日	前日準備
5月27日	事業開催日（早瀬憲太郎氏講演会） 参加者数 147名
6月26日	打合せ：早瀬氏講演会の反省、次回講演会開催までの予定について
11月14日	打合せ：概要、講演内容、開催までの予定について
12月18日	打合せ：司会、ボランティアスタッフ、役割分担について
12月22日	民児協役員会へチラシ配布依頼
(H30) 2月 7日	打合せ：役割分担、当日準備について
2月12日	事業開催日（田中清氏講演会） 参加者数 240人

2 協働事業の実施した結果について

- ・市民に手話は言語であるということや、ろう者にとって手話は大切なものであると理解することができた。
- ・手話通訳が聴こえる人にも必要であるとの認識や、様々な情報保障があることを知るきっかけとなった。

3 団体、担当課の評価等 評価：◎よくできた ○できた △課題である

協働事業の 評価の視点	団体		担当課	
	評価	コメント	評価	コメント
協働事業を行うにあたり、互いの情報等を共有できたか。	◎	業務でも日頃関係のある担当課と連絡を取り合い進めることができた。	○	概ね連絡を取り合い進める事ができた。チラシの作成等、締切間際には時間の関係で齟齬があった。
協働事業の目的を共有できたか。	◎	共有できた。	◎	共有できた。
協働事業の役割分担は適正だったか。	◎	準備から当日運営において、担当課との役割分担は適性であった。	○	1回目は担当課の負担が大きかったが、2回目は適正に役割分担ができた。
互いを尊重し、対等な立場で協働事業を実施できたか。	◎	実施できた。	○	1回目は、団体が担当課の指示を待つ場面が多く、団体の主体性を尊重できるとより良かった。
協働したことにより、他の地域や市民へ広がりがみられたか。	◎	市HP、広報、掲示板の他、記者発表により広く市内外の来場者を得られた。	◎	市が行う広報の他に、団体が行った市内外への口コミも功を奏し、満席に近い入場者があった。

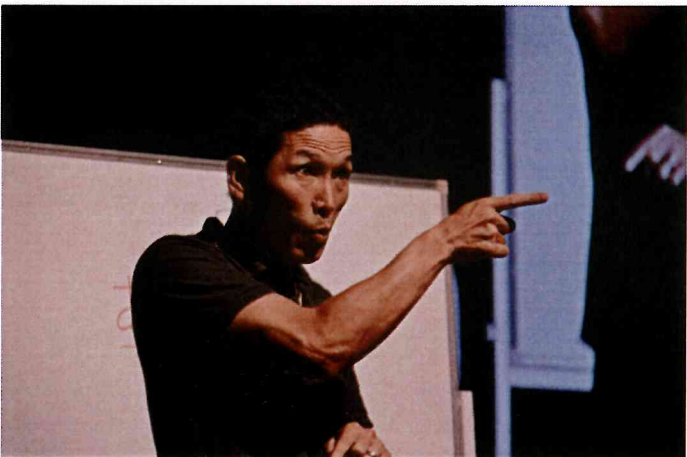
【団体の感想等】

- ・NHKの「みんなの手話」元講師、「手話ニュース 845」元キャスターと知名度のある講師を招くことができ、報道等で広く周知することもできたことから、多くの来場者に恵まれた。
- ・ボランティアスタッフとして市内聴覚障害者の会、手話サークルの協力を得て事業を開催することができた。

【担当課の感想等】

- ・団体が持つ人脈によって集客を見込める知名度のある講師を招くことができ、予算内で効果的な講演会にできた。
- ・市が持つ事業実施のノウハウを団体に伝えるまでは、担当課の業務量が非常に多くなり負担が大きかった。
- ・ボランティアスタッフとして聴覚障がい当事者が活躍したことで、当日参加した市民に手話をより身近に感じてもらうことができた。

第1回 「手話は言語～音声日本語とのちがい～」 講師：早瀬憲太郎氏



第2回 「手話は言語～CODAの立場から～」 講師：田中清氏



様式第7号（第8条関係）

収 支 決 算 書

採択協働事業の名称 手話を知るための講演会

1 収入の部

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	摘 要
事業費	190,000	190,000	市補助金
合 計	190,000	190,000	

2 支出の部

(単位 円)

科 目	予算額		決算額		摘 要
		うち補助対象 額		うち補助対象 額	
使用料及び賃借料	50,800	50,800	45,400	45,400	刊☆ふじみ施設 及び付属設備使用料
報償費	80,000	80,000	92,000	92,000	講師謝金他
役務費	14,000	14,000	11,848	11,848	保険料、振込手数料
印刷製本費	30,000	30,000	17,666	17,666	チラシ印刷代他
消耗品費	12,200	12,200	19,497	19,497	コピー用紙他
食糧費	3,000	3,000	3,589	3,589	弁当、茶他
合 計	190,000	190,000	190,000	190,000	

手話は言語

音声日本語とのちがいは



手話を知るための講演会

■講師プロフィール

早瀬憲太郎 (はやせ けんたろう)

元「NHKみんなの手話」の講師であり、2016年にはV6三宅健氏とNHKリオパラリンピックのキャスターを務めた。日本の教育者、映像作家。自身ろう者であり、ろう者向けの学習塾の経営を行うほか、ろう者向けあるいはろう者をテーマとした映像・映画の製作を行っている。妻は聴覚障がい者で初の薬剤師となった早瀬久美氏。

2017

5/27 (土)

10:00~
11:30

手話通訳 要約筆記
磁気ループ付き

会場

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ マルチホール

共催 富士見市／富士見市社会福祉協議会

【問合せ】 富士見市社会福祉協議会 ☎049-254-0747 fax049-255-4374

第2弾!!



手話を知るための講演会

手話は言語

～CODAの立場から～

日時

平成30年 **2月12日** (月・振)

13時～14時30分 (開場12時30分)

会場

富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ
マルチホール



入場無料
申込不要

講師

田中 清 氏

■講師プロフィール

田中 清 (たなか きよ)

神奈川県横浜市在住。

聴覚障がい者(ろう者)の両親のもとに生まれる。

手話通訳士、手話講師他、各地での講演活動や
ドラマの手話指導など幅広く活躍している。

厚生労働省認定手話通訳士

元NHK「手話ニュース」キャスター



《お問い合わせ》

富士見市社会福祉協議会

〒354-0021 富士見市鶴馬1932-7

TEL:049-254-0747 FAX:049-255-4374

E-mail:kyoudou@fujimi-shakyo.or.jp

情報保障あり
手話通訳
要約筆記
磁気テープ



CODA(コーダ)とは・・・

ろう者の親をもつ聴者のこと
(Children of Deaf Adults)

《共催》 富士見市／富士見市社会福祉協議会

富士見市社会福祉協議会
マスコットキャラクター うさみん